

17年度 Q2 決算説明会 質疑応答要約

Q) P&S 事業が好調に推移しているが、市場環境に変化が出ているのか？

A) プリンター市場自体は成熟しているため、グローバルではわずかに縮小しているのではないかと考えている。ブラザーが強いA4のレーザープリンター・複合機市場は、A3機からのユーザーのシフトや、競合環境の変化もあり、コストを押さえながら、販売数量を増やすことができている。下期にかけても、こういった環境に大きな変化は出ないのではないかと考えている。

Q) 製品本体に比べ、消耗品の売上が弱く見えるが、来期以降、P&S 事業の収益性を更に向上させていくことは可能なのか？

A) 消耗品については、ユーザーのプリントボリュームの低下もあり、大きな増加は期待しにくい。少しでも消耗品の売上を増やすために、欧州を筆頭にグローバルで、SOHO の顧客に比べプリントボリュームの大きい SMB 顧客向けの販路拡大に力を入れており、大口案件も増加傾向にある。

Q) 産業機器は、収益性も Q1 に比べると良くなってきているように思われるが、何か変化があるのか？

A) IT 関連の大口案件の効果だけでなく、自動車関連の受注も着実に増えていることが考えられる。日本での産業機器の受注も過去最高の水準となっている。工作機械業界全体として活況が続いているため、今後部品の調達がネックになる可能性があるかもしれないが、Q2 における収益性は、実力値だと考えて頂いて良いと思う。

Q) ドミノ事業も順調のようだが、PMI の進捗などあれば教えてほしい

A) 製品開発はドミノ社と協業して複数のプロジェクトを進めているが、まだ今日の段階で具体的に申し上げられる状況にはない。業績面は、コーディング & マーキング事業、デジタル印刷機事業とも、高い成長が実現できていると考えている。強化してきたドミノのセールス & ソリューション力が評価されて、マーケットシェアも上がってきていると思う。

以上